

第20回 読書メッセージコンテスト その他の審査結果

	氏名	おすすめの本・作者
優秀賞	花井晴煌さん(草野小1年)	「バナナ」天野 實
	阿部華瑠奈さん(白石小5年)	「東京大空襲」早乙女勝元
	渡辺晴香さん(相農飯館校3年)	「ひとり暮らしな日々」たかぎなおこ
	原田 朋 さん(深谷)	「生き方」稲森和夫
JPIC賞	末永証稀さん(松川小3年)	「キャベツがたべたいのです」シゲタサヤカ
	星 陽稀さん(飯樋小3年)	「しゅんかん図鑑」伊知地国夫
	星 慎治さん(飯樋小6年)	「学研の図鑑LIVE宇宙」監修 吉川真・縣秀彦
	庄司幸人さん(飯館中2年)	「君は月夜に光り輝く」佐野徹夜
	佐藤未姫さん(飯館中3年)	「レインツリーの国」有川 浩
	菅野菜月さん(相農飯館校3年)	「秒速5センチメートル」新海 誠
	霜山利博さん(深谷)	「そして、バトンは渡された」瀬尾まいこ

※読書メッセージコンテストで入賞した皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で借りることができます。お気に入りの1冊を見つけてみてください。

# 伝える 伝わる

2つのコンテストを振り返ります

## 第20回 読書メッセージコンテスト

100字のメッセージで自分のおすすめの本を伝える「読書メッセージコンテスト」。本との出会いが広がることを願い、村が実施しているコンテストです。ここに今年度の受賞作の一部を紹介します。おすすめされると本当に読んでみたくりますよ。素敵なメッセージのご応募、ありがとうございました。

私はこの作品を読み、自分の悩みに対する考えが変わりました。自分自身が行ってきた事、辛い事、失敗してしまつた事、それらは全て間違いでも無駄な事でもない、この作品から教えてもらいました。読み切ると心が弾むようでした。



置きかけた場所で咲きなさい  
渡辺和子(幻冬舎刊)



最優秀賞  
菅野真鈴さん  
(相農飯館校3年)

世の中には他人の死でしか救えない命がある。臓器移植を通して命を救っていく医療従事者達の苦悩や喜び、希望がよく伝わってきた。日々、命と向き合い、不可能に挑戦し続ける医師たちに命の意味を考えさせられる作品だ。



移植医たち  
谷村志穂(新潮社刊)



優秀賞  
庄司梨花さん  
(飯館中3年)

「けんかするより、仲よくしていたほうが幸せだよ!」戦いは決して人を幸せにしないということを虐待された子犬の未来が教えてくれました。しあわせのバトンタッチとは何なのでしょう。命について、一緒に考えてみませんか。



しあわせのバトンタッチ  
今西乃子(岩崎書店刊)



優秀賞  
高倉 凜さん  
(草野小5年)

## ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 十七字で、つなぐ絆

福島県教育委員会が行っている「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」に、草野・飯樋・白石小学校と飯館中学校が取り組みました。この事業は、子ども達が、家庭・学校・地域における生活体験や自然体験、交流体験などを通して得た感動を、十七音で表現し、家族や周りの大人と二人一組で応募するユニークなコンテストです。村の子ども達の作品を、お楽しみください。

先生	生徒	母	子	中学校	先生	児童	母	子	小学校					
財産は	飯館は	棚の上	お母さん		世代こえ	ふるさとで	肩もむね	お手伝い		夏休み	母もがんばる	夏休み	ぼくもがんばる	お手つだい
心のつながり	復興をきに	手が届かない	気付けば僕より	小さいね	受け継がれゆく	育てたお米	子の優しさに	したらよろこぶ	お母さん	宿題を	宿題を	宿題を	宿題を	宿題を
この出会い	ピカピカに	息子呼ぶ			ふるさとこの米	おいしいな	じんときる							